

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ
 コード番号 2461 URL <http://www.fancs.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 安慶
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 杉山 紳一郎

TEL 03-5766-3530

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	6,391	—	917	—	944	—	874	—
23年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 24年12月期第2四半期 889百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年12月期第2四半期	9,252.12	9,041.35
23年12月期第2四半期	—	—

(注)平成23年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年12月期第2四半期	8,424	5,433	63.5	57,202.82
23年12月期	7,642	4,978	64.2	51,741.09

(参考)自己資本 24年12月期第2四半期 5,351百万円 23年12月期 4,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年12月期	—	0.00	—	2,200.00	2,200.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	2,400.00	2,400.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	12,781	20.7	1,801	4.6	1,855	3.7	1,389	41.0	14,768.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	107,790 株	23年12月期	106,590 株
24年12月期2Q	14,239 株	23年12月期	11,763 株
24年12月期2Q	94,558 株	23年12月期2Q	95,124 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の4ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	11
5. (参考) 前事業年度に係る個別財務諸表	12
(1) 四半期損益計算書	12
(2) 四半期キャッシュ・フロー計算書	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による甚大な被害により国内景気が停滞していましたが、政府の景気対策等により、徐々に改善の兆しが見られております。しかしながら、欧州政府の債務危機や中国をはじめとする新興国の成長鈍化により、海外経済が下振れし国内景気が下押しされるリスクもあり、景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような経済状況のもとで、当社グループの主要事業であるインターネットマーケティングサービス分野では、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)やミニブログ(ツイッター)の普及、iPhoneやAndroidを始めとするスマートフォン、タブレット端末などの登場によりインターネット利用者の利用シーンはますます広がりを見せております。電子商取引推進企業によるインターネット広告及びアフィリエイトマーケティングへの取り組みは今後さらに拡大してくるものと予測されます。

当第2四半期連結累計期間は、スマートフォンの急激な普及により「エーハチネット」及び「ネンド」を中心にトラフィックが大きく伸びました。そのため、スマートフォン広告の受注に注力するとともに、スマートフォン経由の広告効果を高めるための取り組みを行いました。また、広告主のグローバル化に対応するために、世界各国のアドネットワークとのつなぎこみを行う株式会社アドジャポンを設立、さらに、当社グループが運営するサービスに参加して頂いているパートナーサイトを中心に、クラウドソーシングを展開するため、株式会社セルフエンプロイドを設立致しました。その他、当社グループでは、アフィリエイト広告サービスの周辺事業においても積極的なサービス展開を行いました。また、社会貢献活動の一環としてパートナーサイトが獲得した成果報酬から慈善団体に寄附できるチャリティ機能をリリースしました。寄附に際しては、パートナーサイトから寄せられた寄附金額と同額を当社が上乘せし各団体へ寄附致します。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、6,391,966千円となりました。また、営業利益は、917,557千円、経常利益は営業外収益に受取利息を25,628千円計上したことなどにより944,715千円となり、四半期純利益は特別利益に投資有価証券売却益を460,000千円計上、特別損失に投資有価証券売却損を72,815千円及び投資有価証券評価損を20,402千円計上したこと等により874,866千円となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較は記載しておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① パソコン向けアフィリエイト広告サービス

主力サービスでありますアフィリエイト広告サービスのうちパソコン向けアフィリエイト広告サービス「エーハチネット」を提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、各種キャンペーンや広告主に向けて費用対効果を高めるコンサルティング活動を行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,914,503千円、全社費用控除前の営業利益は1,037,568千円となりました。

② モバイル向けアフィリエイト広告サービス

主力サービスでありますアフィリエイト広告サービスのうちモバイル向けアフィリエイト広告サービス「モバハチネット」及びフィーチャーフォン向け広告サービス「アドカボ」並びにスマートフォン向け広告サービス「ネンド」等を提供しております。なお、「アドカボ」につきましては、2012年6月末を持ちましてサービスを終了しております。当第2四半期連結累計期間においては、ネンドの売上が順調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,997,429千円、全社費用控除前の営業利益は、282,309千円となりました。

③ 自社媒体事業

広告収入を収益モデルとした自社媒体の運営を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、株式会社リアスの売上がフィーチャーフォン向け広告を中心に減少致しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は215,221千円、全社費用控除前の営業損失は35,051千円となりました。

④ その他

他社媒体広告販売等を展開しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は264,812千円、全社費用控除前の営業利益は14,708千円となりました。

○ 報告セグメント別の売上高の内訳

当社は、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。よって、平成23年12月期第2四半期の数値は、記載しておりません。

セグメントの名称	平成24年12月期第2四半期		平成23年12月期	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
パソコン向け アフィリエイト広告サービス	3,914,503	61.2	7,038,260	66.5
モバイル向け アフィリエイト広告サービス	1,997,429	31.3	2,840,614	26.8
自社媒体事業	215,221	3.4	434,553	4.1
その他	264,812	4.1	277,273	2.6
総売上高	6,391,966	100.0	10,590,702	100.0

なお、主力サービスであるアフィリエイト広告サービスにおける事業年度末(当第2四半期末)の利用広告主数(稼働広告主ID数)、参加メディア数(登録パートナーサイト数)は、下記のとおりであります。

サービス	区分	平成24年12月期 第2四半期末	平成23年12月期末
パソコン向け アフィリエイト広告サービス 「エーハチネット」	稼働広告主ID数	2,239	2,195
	登録パートナーサイト数	1,257,833	1,165,584
モバイル向け アフィリエイト広告サービス 「モバハチネット」及び「ネンド」	稼働広告主ID数	1,241	1,205
	登録パートナーサイト数	206,219	181,433
当社 アフィリエイト広告サービス 合計	稼働広告主ID数	3,480	3,400
	登録パートナーサイト数	1,464,052	1,347,017

[アフィリエイト広告サービスの状況に関する定性的情報等]

モバイル向けアフィリエイト広告サービスに含めておりました「アドカボ」につきましては、2012年6月末日を持ちましてサービスを終了しておりますので、本表からは除外しております。平成23年12月期末につきましても遡及修正しております。

当第2四半期末における、パソコン向けアフィリエイト広告サービス「エーハチネット」の状況は、利用広告主数が2,239社、参加メディア数が1,257,833サイトとなりました。一方、モバイル向け同サービス「モバハチネット」及び「ネンド」においては、利用広告主数の合計が1,241社、参加メディア数の合計が206,219サイトという結果になりました。当第2四半期末における両サービスを合わせた利用広告主数は3,480社(前期末比102.4%)、参加メディア数は1,464,052サイト(前期末比108.7%)になっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

(総資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,424,430千円となり、前連結会計年度末に比べ781,906千円増加致しました。主な増加要因は、売掛金が1,583,023千円(前連結会計年度末は1,242,012千円)と341,010千円増加したこと、投資有価証券が2,299,616千円(前連結会計年度末は1,986,451千円)と313,164千円増加したこと、現金及び預金が3,007,840千円(前連結会計年度末は2,848,772千円)と159,067千円増加したことによるものであります。

(負債)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における負債は2,991,354千円となり、前連結会計年度末に比べ327,678千円増加致しました。主な増加要因は、買掛金が1,851,704千円(前連結会計年度末は1,523,877千円)と327,826千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,433,075千円となり、前連結会計年度末に比べ454,227千円増加致しました。主な増加要因は、自己株式が1,514,562千円(前連結会計年度末は1,266,264千円)

と248,297千円増加した一方、利益剰余金が4,701,827千円(前連結会計年度末は4,035,580千円)と666,247千円増加したことによるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は63.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から159,067千円増加し2,907,840千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、567,696千円の収入となりました。これは、主に法人税等の支払額が461,188千円であった一方、税金等調整前四半期純利益を1,308,157円計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、29,453千円の収入となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出が1,533,745千円であった一方、投資有価証券の償還による収入が1,200,000千円であったこと、投資有価証券の売却による収入が466,122千円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、438,082千円の支出となりました。これは、主に自己株式の取得による支出が248,297千円であったこと、配当金の支払額が181,732千円であったことによるものであります。

なお、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較は記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月3日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,848,772	3,007,840
売掛金	1,242,012	1,583,023
有価証券	1,097,353	1,037,432
その他	150,924	163,240
貸倒引当金	△51,613	△50,252
流動資産合計	5,287,449	5,741,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,369	43,905
減価償却累計額	△11,734	△13,849
建物及び構築物(純額)	18,635	30,056
工具、器具及び備品	167,102	168,038
減価償却累計額	△126,950	△130,063
工具、器具及び備品(純額)	40,151	37,975
リース資産	7,891	7,891
減価償却累計額	△7,891	△7,891
リース資産(純額)	—	—
有形固定資産合計	58,786	68,031
無形固定資産		
のれん	34,233	30,498
その他	110,028	112,799
無形固定資産合計	144,261	143,297
投資その他の資産		
投資有価証券	1,986,451	2,299,616
その他	174,828	176,949
貸倒引当金	△9,254	△4,749
投資その他の資産合計	2,152,025	2,471,816
固定資産合計	2,355,074	2,683,146
資産合計	7,642,523	8,424,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,523,877	1,851,704
短期借入金	20,000	—
未払法人税等	469,206	363,013
賞与引当金	59,402	67,830
ポイント引当金	176,040	161,093
その他	284,830	398,537
流動負債合計	2,533,357	2,842,179
固定負債		
長期預り保証金	130,318	149,175
固定負債合計	130,318	149,175
負債合計	2,663,676	2,991,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	954,380	960,380
資本剰余金	1,206,330	1,212,330
利益剰余金	4,035,580	4,701,827
自己株式	△1,266,264	△1,514,562
株主資本合計	4,930,026	5,359,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,574	△8,594
その他の包括利益累計額合計	△23,574	△8,594
新株予約権	72,395	81,694
純資産合計	4,978,847	5,433,075
負債純資産合計	7,642,523	8,424,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	6,391,966
売上原価	4,385,991
売上総利益	2,005,975
販売費及び一般管理費	1,088,417
営業利益	917,557
営業外収益	
受取利息	25,628
受取配当金	1,013
その他	1,488
営業外収益合計	28,131
営業外費用	
支払利息	34
自己株式取得費用	496
その他	441
営業外費用合計	973
経常利益	944,715
特別利益	
投資有価証券売却益	460,000
その他	192
特別利益合計	460,192
特別損失	
投資有価証券売却損	72,815
投資有価証券評価損	20,402
その他	3,532
特別損失合計	96,749
税金等調整前四半期純利益	1,308,157
法人税、住民税及び事業税	426,958
法人税等調整額	6,332
法人税等合計	433,290
少数株主損益調整前四半期純利益	874,866
四半期純利益	874,866

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	874,866
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	14,979
その他の包括利益合計	14,979
四半期包括利益	889,846
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	889,846
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年1月1日
至 平成24年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,308,157
減価償却費	56,533
株式報酬費用	9,491
のれん償却額	3,734
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,866
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,427
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△14,946
受取利息及び受取配当金	△26,642
投資有価証券評価損益(△は益)	20,402
投資有価証券売却損益(△は益)	△387,184
売上債権の増減額(△は増加)	△336,505
仕入債務の増減額(△は減少)	327,826
預り保証金の増減額(△は減少)	18,856
その他	26,814
小計	1,009,098
利息及び配当金の受取額	19,821
利息の支払額	△34
法人税等の支払額	△461,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	567,696
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△32,032
無形固定資産の取得による支出	△46,072
投資有価証券の取得による支出	△1,533,745
投資有価証券の売却による収入	466,122
投資有価証券の償還による収入	1,200,000
敷金及び保証金の差入による支出	△22,324
その他	△2,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000
株式の発行による収入	11,948
自己株式の取得による支出	△248,297
配当金の支払額	△181,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△438,082
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159,067
現金及び現金同等物の期首残高	2,748,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,907,840

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パソコン向 けアフィリエイト 広告サービス	モバイル 向けアフィリエイト 広告サービス	自社媒体 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,914,503	1,997,429	215,221	6,127,154	264,812	6,391,966	—	6,391,966
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,215	1,147	14,873	21,236	242	21,478	△21,478	—
計	3,919,718	1,998,577	230,095	6,148,390	265,054	6,413,445	△21,478	6,391,966
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	1,037,568	282,309	△35,051	1,284,827	14,708	1,299,535	△381,978	917,557

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社媒体広告販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年2月10日の当社取締役会の決議に基づき自己株式として普通株式661株を取得、また平成24年5月11日の取締役会の決議に基づき自己株式として普通株式を1,815株取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が248,297千円増加しております。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)							
(重要な子会社の取得)							
<p>当社は、平成24年7月12日開催の取締役会において、株式会社BCメディア（平成24年8月1日付で商号変更を行い株式会社ミートラボとなっております。）の株式を取得して子会社化することを決議し、平成24年7月12日に1,710株（保有割合85.5%）の株式を取得いたしました。</p>							
1. 株式の取得による子会社化の目的							
<p>株式会社BCメディアは、株式会社ベストクリエイトが展開していたスマートフォンアプリレビューサイト運営事業を分社化し平成24年6月7日に新規設立されました。当社の持つアフィリエイトネットワークとの連携強化により、売上拡大が見込めることにより、今後の当社グループの事業拡大につながると考えられることから、同社を子会社化することと致しました。</p>							
2. 株式取得の相手会社の名称	株式会社ベストクリエイト						
3. 買収する会社の名称、事業内容、規模							
(1) 名称	株式会社BCメディア（現会社名：株式会社ミートラボ）						
(2) 事業内容	インターネットメディア広告事業						
(3) 規模（設立時）	<table> <tr> <td>資本金の額</td> <td>10百万円</td> </tr> <tr> <td>純資産の額</td> <td>18百万円</td> </tr> <tr> <td>総資産の額</td> <td>32百万円</td> </tr> </table>	資本金の額	10百万円	純資産の額	18百万円	総資産の額	32百万円
資本金の額	10百万円						
純資産の額	18百万円						
総資産の額	32百万円						
4. 株式取得の時期	平成24年7月12日						
5. 取得する株式数、取得価額及び取得後の持分比率等							
取得する株式の数	1,710株						
取得価額	37,820千円						
取得後の持分比率	85.5%						

5. (参考) 前事業年度に係る個別財務諸表

前第3四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を参考として記載しております。

(1) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	5,117,229
売上原価	3,410,027
売上総利益	1,707,201
販売費及び一般管理費	
給料	288,807
貸倒引当金繰入額	6,597
賞与引当金繰入額	56,767
その他	466,065
販売費及び一般管理費合計	818,237
営業利益	888,963
営業外収益	
受取利息	28,361
受取配当金	33
投資有価証券売却益	4,553
その他	1,872
営業外収益合計	34,821
営業外費用	
支払利息	146
その他	151
営業外費用合計	298
経常利益	923,486
特別利益	
新株予約権戻入益	3,253
特別利益合計	3,253
特別損失	
固定資産除却損	2,312
投資有価証券評価損	7,721
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,500
特別損失合計	15,533
税引前四半期純利益	911,207
法人税、住民税及び事業税	387,920
法人税等調整額	△11,112
法人税等合計	376,807
四半期純利益	534,399

(2) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	911,207
減価償却費	26,058
株式報酬費用	7,066
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,121
受取利息及び受取配当金	△28,395
株式交付費	42
固定資産除却損	2,312
投資有価証券評価損益(△は益)	7,721
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,553
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,500
売上債権の増減額(△は増加)	△66,149
仕入債務の増減額(△は減少)	155,328
未払消費税等の増減額(△は減少)	△529
前受金の増減額(△は減少)	△22,190
未払金の増減額(△は減少)	△11,591
預り保証金の増減額(△は減少)	△16,304
その他	△31,296
小計	938,545
利息及び配当金の受取額	18,901
利息の支払額	△146
法人税等の支払額	△289,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	667,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000
投資有価証券の取得による支出	△1,034,097
投資有価証券の売却による収入	436,667
投資有価証券の償還による収入	730,000
有形固定資産の取得による支出	△14,618
無形固定資産の取得による支出	△12,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	105,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,000
株式の発行による収入	11,958
配当金の支払額	△155,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	624,618
現金及び現金同等物の期首残高	1,687,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,312,538